

やがて時が来ればどうしてこんな事があるのか
みんなわかるような気がするわ

何のためにこんな苦しみがあるのか
【チエーホフ「三姉妹」より】

「在日2世が語る ‘在日’の歴史」

いし しんじんの
～石ころだらけの新作路～

日本の朝鮮植民地支配の下、在日一世の父母は新天地を求めて、日本で生活を始めました。

1944年、東京で生まれた裴重度さんは、戦後の混乱期、厳しい差別にさらされながら、次第に在日

二世としての自己を確立していきました。そして、「在日の市民権」を求める市民運動や、川崎の地域

実践に関わり、1989年から川崎市ふれあい館館長として歩み、現在は社会福祉法人青丘社理事長と

して青丘社の事業を牽引されています。

今回の講座では、戦後の在日韓国・朝鮮人の法的地位や処遇の歴史を縦軸に置きながら、その時

代を生きた在日二世の想いと生活史をお話していただきます。多くの皆様の参加をお待ちしています。

	日時 (にちじ)	内 容 (ないよう)
1	6月22日(火)	家族の生活史 ～なぜ日本で生活するようになったか・在日韓国・朝鮮人渡航史～
2	6月29日(火)	私の生い立ち・青年期 ～戦後の在日韓国・朝鮮人の法的地位の変遷～
3	7月6日(火)	「在日の市民権」を求める運動との出会い ～1970年代在日韓国・朝鮮人の定住化～
4	7月13日(火)	地域実践としての民族運動から青丘社運動へ ～制度差別撤廃へのとりくみ～
5	7月20日(火)	「場」としてのふれあい館の確立 ～だれもが力いっぱい生きていくために～

主催：川崎市ふれあい館・川崎市教育委員会

日時：2010年6月22日(火)～7月20日(火)・火曜日 午後7時～9時・受講料無料

講師：裴重度さん 社会福祉法人 青丘社 理事長

場所：川崎市ふれあい館 住所：川崎市川崎区桜本1-5-6 TEL044-276-4800

申し込み：電話(276-4800)・FAX(287-2045)または来館

